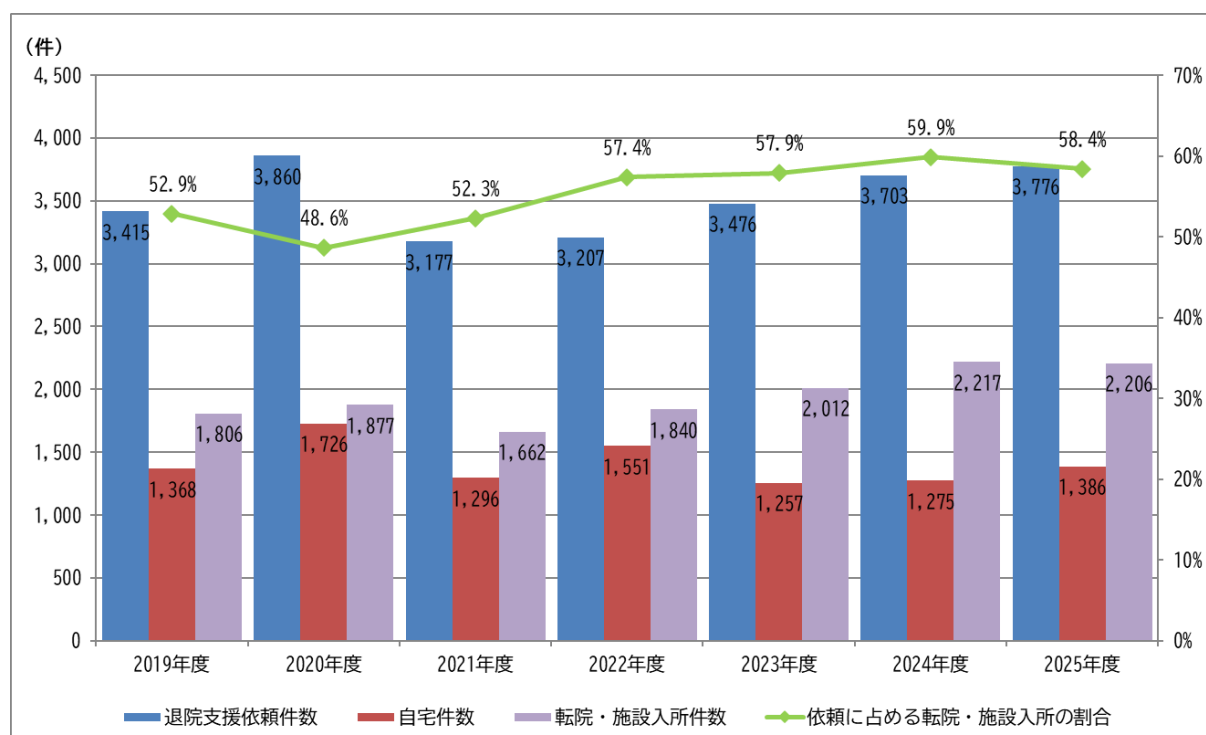


## 退院支援における転院・施設入所患者の割合



医療連携福祉相談部では、2016 年度より医療ソーシャルワーカーの病棟担当制を導入し、入院前から退院後・地域生活までを見据えた切れ目のない支援体制の構築を進めている。退院支援依頼件数は、2020 年度に 3,860 件と一旦ピークを迎えた後、いったん減少したものの近年増加傾向にある。背景には、高齢化の進行や複数疾患を抱える患者の増加、独居・老老介護など社会課題の複雑化があり、退院支援の重要性は年々高まっている。また地域包括ケアシステムの推進により、急性期病院には早期から退院後を見据えた支援と地域との円滑な連携が求められている。

今後も患者・家族が安心して次の療養先へ移行できるよう、入院前・入院直後から退院を見据えた支援を行うとともに、地域の医療機関や療養施設との連携強化を図り、質の高い退院支援を目指していきたい。

データ提供 医療連携福祉相談部